

第4回「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」の議事内容について

平成 21 年 3 月 23 日

当社は、原子力発電設備、火力発電設備および水力発電設備における点検の結果、抽出された不適切な事案に対しての再発防止対策について、具体的な行動計画を取りまとめ、平成19年5月21日に、経済産業省原子力安全・保安院に報告しました。
(平成19年5月21日公表済み)

このなかで、原子力部門における再発防止対策のうち、「第三者目線の導入」として取り組んでいる「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」の第4回委員会を、平成21年3月9日に開催しました。
(平成21年3月9日公表済み)

第4回委員会の議事内容を取りまとめましたのでお知らせします。

(議事内容)

【ご意見】

- ① 1, 2号機の廃止、6号機の新設、使用済燃料乾式貯蔵施設の設置について、その必要性や安全性を十分に地元の皆様にご理解いただけるよう、説明を行っていただきたい。なお、説明にあたっては誤解を生じないよう、適切な表現で実施いただきたい。
- ② 新検査制度への取り組みについては、一般住民の方々にその良さも含めて十分に伝わるよう、情報発信に取り組んでいただきたい。

【ご意見に対する対応】

- ① 1, 2号機の廃止、6号機の新設、使用済燃料乾式貯蔵施設の設置について、その必要性や安全性を十分に地元の皆様にご理解いただけるよう説明に取り組んでまいります。
- ② 新検査制度への取り組みについて、一般住民の方々にその良さも含めて十分に伝わるよう、情報発信に取り組んでまいります。

※詳細な内容は別紙のとおりです。

以 上

第4回「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」議事要旨

1. 日 時

平成21年3月9日（月） 11:00～15:30

2. 場 所

浜岡原子力発電所 事務本館 5-1会議室

3. 出席者

○ご意見を聴く会委員（50音順、敬称略）

天岸 祥光 静岡大学名誉教授
石井 水穂 （前）静岡県労働者福祉協議会 会長
大塚 博巳 （前）志太経済懇話会 会長
鴨川 義郎 （元）浜岡町長
夏目 智子 NPO法人ふぁみりあネット理事長
水谷 洋一 静岡県地球温暖化防止活動推進センター一次長

○当社参加者

水谷 良亮 取締役専務執行役員 浜岡原子力総合事務所長
石原 準一 執行役員 浜岡原子力発電所長
倉田千代治 執行役員 浜岡地域事務所長
鶴来 俊弘 浜岡原子力発電所 品質保証・検査部長
安田 明彦 浜岡原子力発電所 総務部長
小島 琢夫 浜岡原子力発電所 技術部長
涌永 隆夫 浜岡原子力発電所 発電部長
中沢 博文 浜岡原子力発電所 保修部長
伊原 一郎 浜岡原子力発電所 原子力研修センター所長
福本 一 浜岡地域事務所 総括・広報グループ部長
松井 誠 浜岡地域事務所 地域グループ部長

4. 内 容

- (1) 浜岡原子力発電所の運営状況について
- (2) 浜岡原子力発電所リプレイス計画等について
- (3) 発電設備の点検結果に係る再発防止対策の実施状況について
- (4) 「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」のご意見に対する対応状況について
- (5) ご意見および評価・感想

5. 配布資料

- No. 1 浜岡原子力発電所の運営状況について
- No. 2 浜岡原子力発電所リプレース計画等について
- No. 3 発電設備の点検結果に係る再発防止対策の実施状況について
- No. 4 第3回「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」で頂いたご意見に対する回答

6. 議 事

(1) 浜岡原子力発電所の運営状況について

当社より発電所の運営状況について説明した。また、トピックスとして以下の2件について説明した。

- ア. 浜岡5号機の調整運転中における原子炉手動停止について
- イ. 2010年度からの浜岡4号機でのプルサーマル実施に向けての取り組み状況について

(2) 浜岡原子力発電所リプレース計画等について

当社より浜岡原子力発電所リプレース計画等について説明した。

(3) 発電設備の点検結果に係る再発防止対策の実施状況について

当社より発電設備の点検結果に係る再発防止対策の実施状況について説明した。

(4) 「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」のご意見に対する対応状況について

当社より第3回「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」でいただいたご意見に対する対応状況として、以下の3件について説明した。

- ア. 「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」の活動評価について
- イ. 新検査制度に対する浜岡原子力発電所の取り組み状況について
- ウ. 一般の方からの原子力に対する問い合わせ状況について

(5) ご意見および評価・感想

ア. 委員からいただいたご意見について

1, 2号機の廃炉についてはこれまで60年の運転を仮定した高経年化評価を行って、今後も運転を継続するとしてきたことを踏まえて説明をして欲しい、使用済燃料乾式貯蔵施設は1, 2号の廃炉に係わらず必要であったことが伝わっていないと感じられるとの話があった。また、新検査制度の取り組みについては国から県、御前崎市に説明があったが、住民への説明が不足しているように感じられるとの話があった。

以上を踏まえ、いただいたご意見を以下の2件とした。

- 1, 2号機の廃止、6号機の新設、使用済燃料乾式貯蔵施設の設置について、その必要性や安全性を十分に地元の皆様にご理解いただけるよう、説明を行っていただきたい。なお、説明にあたっては誤解を生じないよう、適切な表現で実施いただきたい。
- 新検査制度への取り組みについては、一般住民の方々にその良さも含めて十分に伝わるよう、情報発信に取り組んでいただきたい。

イ. これまでの活動を通じた委員からの評価・感想について

これまでの活動を通じた評価・感想について述べていただいた。

(7) 会の目的（不正を生み出さない環境作り）に対する評価・感想

- 働く方の個々の意識や職場の風土まではわかりませんが、リーダーの方々の姿勢を見て、不安を感じたことは一度もありませんでした。
- 不正を生み出さない仕組みとしてのCAP会合に積極的に取り組んでおり、評価できます。ただし、CAP会合だけにこだわっていると落とし穴が生じる可能性があり、気をつける必要があります。
- CAP会合がマンネリ化しないように、これからも管理職の方はしっかりコントロールをお願いします。
- CAP会合等に関する外部評価のしくみを構築していただきたい。

(イ) その他評価・感想

- ミスが起きることを前提とした組織作りを考えていくことが安全文化を醸成する上で重要だと感じています。
- ミスが起きる要因として、熟練者が減っていることが考えられます。教育には手間暇を惜しむことなく、人材育成に取り組んでいただきたい。
- 中部電力の取り組みを学ぶことができ、良い機会だったと感じています。
- 一般の方々は、報道により事実を知ることとなり、その際に先入観を持つこともありますので、事実と受け取る情報の乖離が発生しないよう、これからも情報発信に心掛けていただきたい。
- 原子力を取り巻く環境はこの40年間で大きく変わってきていますが、原子力の重要性は変わっていないため、今後も使命感を持って取り組んでいただきたい。

以 上